

実施内容	経皮的補助循環用ポンプカテーテル（Impella）に対する重炭酸水素ナトリウム（メイロン）加パージ液の使用について
対象者	HIT（ヘパリン起因性血小板減少症）を含むヘパリン使用禁忌症例 重篤な出血性合併症を発症した症例または予見される症例
目的・意義	Impella は心臓の機能をサポートする補助循環装置です。このポンプカテーテル内のモーター部分への地液の侵入と血栓形成を防止するためにパージ液と呼ばれる薬液をモーター部分に流し続ける必要があります。このパージ液には、ヘパリン加ブドウ糖注射液を使用することが Impella の添付文書に記載されています。 一方、このパージ液のヘパリンによる抗凝固作用によって出血性合併症を増悪させることがあります。その場合、Impella の使用中止を余儀なくされる可能性があります。 近年の臨床研究によって重炭酸水素ナトリウム加ブドウ糖注射液を用いたパージ液は、ヘパリン加ブドウ糖注射液と同等のモーター保護作用を持ちながら、出血性合併症の発生頻度を軽減させることが明らかになっております。また、米国では重炭酸水素ナトリウム加ブドウ糖注射液を用いることがアメリカ食品医薬品局（FDA）で承認されています。本邦では保険収載されておりませんが、前述した理由でヘパリンの使用が困難であると担当医が判断した患者様に限り、適応外使用として重炭酸ナトリウム加ブドウ糖注射液を使用します。 出血性合併症の懸念がなくなった等、ヘパリンが使用できる状態になった場合には可及的速やかにヘパリン加ブドウ糖注射液を使用します。
想定される不利益と対策	炭酸水素ナトリウムの投与により、代謝性アルカローシスに酸塩基平衡が傾く場合があります。定期的な血液ガス検査で異常が見られた場合には酸塩基平衡の補正を行います。 また、ポンプカテーテルの異常や溶血を来す可能性があります。定期的に Impella の作動状況を確認し、採血・採尿で溶血の有無を確認します。
問い合わせ先	八戸市立市民病院 各診療科担当医師 代表 0178-72-5111